

令和3年度(2021年度)第6回函館市教育振興審議会
「函館市教育振興基本計画改訂案」に対する各委員からの意見等

1 21ページから22ページまで(第5章・基本目標2・施策1)

該当ページ	ご意見・疑問点等
22 ページ中段	<ul style="list-style-type: none"> ・「連携・協働体制を構築する必要があります。」 ⇒ 市内すべての市立学校にCSが設置されていることから、体制は構築されていると思いますので、「構築する」ではなく「 <u>深める</u> 」としてはどうか？
22 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「参画」には、保護者や地域住民が「主体的・積極的に学校運営を共に行う」という意味合いがあると思います。その意味合いを込めて「促進」という文言を使っているのだと思いますが、今後具体的な取組内容を検討する中で、コミュニティ・スクールや学校運営協議会などについて、市教委や各学校が保護者や地域住民に、再度説明・周知を図ることが必要だと思いました。主体的・積極的に協力を得ることは簡単な事ではないと思います。
22 ページ下段	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に関わることですが、(3)(4)の文末表現「～を促進します。」と「～を推進します。」をどのように使い分けているのか？

2 23ページから24ページまで(施策2)

該当ページ	ご意見・疑問点等
23 ページ中段	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業準備、放課後における学習指導、部活動指導などを要因～」 ⇒「 <u>依然として、部活動指導、授業準備、放課後の採点業務等の学習評価などを要因</u> 」と順序を入れ替えるなどの方が、現在の学校現場の実態に合う
23 ページ中段	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校における業務改善が求められています。」 ⇒「 <u>業務改善を一層進める必要があります</u> 」が実態に合うのでは
24 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「2 業務改善に向けた取組の推進」の(1)「校務支援システムを活用し、教員の勤務実態などを客観的に把握しながら」 →「教員の勤務実態などを客観的に把握し、校務支援システムを活用しながら」
24 ページ中段	<ul style="list-style-type: none"> ・「～に向けた取組を推進します」 ⇒「 <u>一層推進します</u> 」が実態に合うのでは

24 ページ下段	・(2)「実践的な研究を通じて教育実践の改善・充実に～」 ⇒「実践」が続くので、「 <u>指導方法の改善・充実に～</u> 」がよいのでは
24 ページ下段	・(3)「児童生徒への適切な支援を教職員が行ううえで～」 ⇒「 <u>教職員が適切な支援を行ううえで必要な児童福祉に関する</u> 」 ※「うえで」はひらがなでよいか？

3 25ページから26ページまで（施策3）

該当ページ	ご意見・疑問点等
25 ページ一つ目の○の8行目	・「発展・向上することや」→「発展・向上させることや」 ※主語が「高等学校教育」であるならば、子どもたちに「…させる」の方がよろしいのかと思います。
25 ページ中段	・「必要とされる支援の内容」 ⇒「 <u>必要とされる支援の内容</u> 」
26 ページ	・同校種間の横の連携は、(1)はもちろん大切ですが、前ページの中学校区内の小・中学校の連携の中で近隣小学校同士の学校教育目標や校内研究、生徒指導上の問題点などの情報交流をすることもできます。平成28～29年にかけて、本通中学校区で校区内の課題解決に向けて校長・教頭・教務主任・生徒指導部長、研究部長同士の会議を定期的に行ったことがあります。それにより、近隣校の先生方が仲良くなり各校の状況を理解し合えたのではないかと思います。横の連携なのか、縦の連携なのかは分かりませんが、中学校区内の小・中学校の連携組織・会議が横の連携にも重要な役割を果たせると思います。
26 ページ4行目	・やや表現が抽象的な印象があります。教育活動の充実や課題解決のため、学校間の横の連携も重要であると思いますので、もう少し具体的な表現にしたほうが良いのではと思いました。

4 27ページから28ページまで（基本目標3・施策1）

該当ページ	ご意見・疑問点等
28 ページ一つ目の○の2行目	・「郷土との積極的で主体的な関わり」 →「郷土への積極的で主体的な関わり」 ※主語は省略されていますが、「子どもたち」だとすれば、「郷土への」が適切ではないでしょうか。
28 ページ7行目	・「本市においては」は、なくても文意が伝わるのではないかと思います。

28 ページ 18 行 目	・「芸術家、スポーツ選手、研究者」については、価値観が多様化してきており、例示はなくてもいいのではないかと思います。
------------------	--

5 29 ページから 30 ページまで（施策 2）

該当ページ	ご意見・疑問点等
29 ページ上段	・「児童生徒が自分の将来を考えるのに役立つ理想のモデルが見付けにくく～」 ⇒この部分の表現に違和感を感じる。何か文献からの引用等と思われるが、もう少し端的な表現に見直すべきでは？「児童生徒が将来への見通しをもちにくい」など短く表現してよいと思います。
30 ページ	・「2 キャリア教育の推進」について、現在、コロナ禍により職場見学や体験が中止になり、思うような活動が出来ていない現状だと思います。外部企業と連携し、講師に学校へ招き、様々な仕事の方たちとコミュニケーションをとれる機会を作るべきではないかと思います。
30 ページ下段	・※キャリア・パスポートの補足説明の「ポートフォリオ」自体が一般の方に伝わりにくい印象があります。例えば、私が検索した中に、「学習ポートフォリオとは、学習過程を記録し、そこでの成果を収集したものです。」とありました。このような表現を使ってはどうかと思います。

6 全体を通じて

ご意見・疑問点等
・なし

7 その他

ご意見・疑問点等
・別紙 1 の 4 段落目の 3 行目「上記に示した教育改革や社会情勢」 →「上記に示した教育改革や社会情勢等」 ※「上記に示した」内容のうち、「不登校児童生徒などの教育の機会の確保」は、「教育改革や社会情勢」だけでは括れない問題が内包されていると思いますので「等」を入れた方がいいのではないかと思います。